

企画展

日本映画名優列伝



主役「スター」だけでは映画はできん!!

鎌倉市川喜多映画記念館

3.19金 → 6.20日

企画展 一般 200 (140) 円
 観覧料 小・中学生 100 (70) 円 * ()内は20名以上の団体料金

バイブレイヤーズ

映画体験を積み重ねるなかで、主役ではないけれど、何度も目にするうちにいつしか忘れがなくなっている俳優の顔に出会ったことはありますか？また、ひとりの役者がある時は善良な庶民を、またある時は残酷な犯罪者を演じ分けるその芸達者ぶりに、驚かされたことも多いのではないのでしょうか。

時代を牽引し、スクリーンの中心で輝くスターは観客を魅了してやみませんが、スターを活かす周りの出演者なくして映画は成立しません。近年、関西弁の名女優・浪花千栄子がドラマの題材に取り上げられ、『バイプレイヤー＝脇役』そのものがタイトルとなるドラマや映画が登場するなど、作品を脇で支える役者の存在に光が当たるようになりました。しかし一口に《脇役》といっても、巨匠たちから絶大な信頼を置かれ、人生の酸いも甘いも味わい尽くした演技で主演だってお手のもの、堂々たる貫禄で主役の向こうを張り、演劇人として舞台のスポットライトも浴びる…そんな縦横無尽の活躍を見せる彼らには、まさに《名優》の名がふさわしいと言えるでしょう。

本展では1950—70年代を中心に、日本映画の黄金時代を築いた「名優（＝バイプレイヤー）」たちの仕事を、映画や書物を通してご紹介します。日本映画の豊かさ、その層の厚みを改めてご堪能ください。



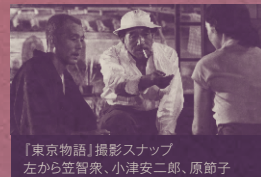
ポスター「続 社長千一夜」(1967年)



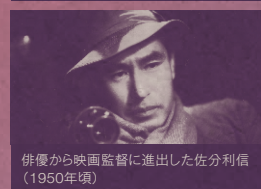
伊藤雄之助
「大根役者 初代文句いっの助」
(朝日書院、1968年)



舞台「欲望という名の電車」の
杉村春子 (1953年)



「東京物語」撮影スナップ
左から笠智衆、小津安二郎、原節子



俳優から映画監督に進出した佐分利信
(1950年頃)

展示協力：劇団民藝、国立映画アーカイブ、濱田研吾、文学座（敬称略、五十音順） 表紙：左上から時計回りに、吉川満子&飯田蝶子、伴淳三郎、沢村貞子、草笛光子、小林桂樹、杉村春子、笠智衆、殿山泰司、望月優子、加東大介、浪花千栄子

トークイベント

5/22(土) 「素晴らしき哉
14:00～ 《バイプレイヤーズ》！」

ゲスト：松居大悟さん
(映画/ドラマ「バイプレイヤーズ」監督)

多くの映画やドラマに出演し、その都度作品の色に染まりながらも、その人でなければ出せない味わいを添えてくれる名バイプレイヤーたち。その重要性は、日本を代表する巨匠たちがそれぞれに信頼する俳優を抱えていたことから明らかです。イベントでは、映画/ドラマ「バイプレイヤーズ」で脇役たちに光を当て、大きな話題を呼んだ松居大悟監督に、映画を作り俳優を演出する「監督」の立場から、時代を超えたバイプレイヤーの魅力や、公開中の映画にまつわるエピソードについて語っていただきます。

料金：一般1,000円、小・中学生500円
チケット発売日：4月17日(土)

特別上映

6/19(土) 『にっぽんのお婆あちゃん』上映+トークイベント
13:30～ 「《脇役本》で味わうバイプレイヤーたちの多彩な魅力」

ゲスト：濱田研吾さん(ライター) 聞き手：のむみちさん(「名画座かんべ」発行人・古書店員)



加東大介「南の島に雪が降る」
(文藝春秋新社、1961年)



映画版に出演する加東大介(左)
©1961 東宝

幾百というキャラクターを演じて人間の奥深さを体現し、スクリーンの向こう側から私たちを魅了してきた名優たちですが、「素」の彼らもまた、多彩で意外な魅力に満ちています。長年にわたり映画・演劇関連の資料収集に勤しむ濱田さんは、バイプレイヤーにまつわる古本を手取るうち、いつかそれらを《脇役本》と命名してこよなく愛するようになりました。悪役俳優の渋

い趣味、いぶし銀役者の豊かな文才、そして名優たちの戦争体験…映画の外側から彼らの素顔を知ること、バイプレイヤーたちへの愛着が倍増するトークイベントです！

料金(『にっぽんのお婆あちゃん』の鑑賞料金含む) 一般1,600円、小・中学生800円
チケット発売日：5月15日(土)

企画展観覧 一般 200(140)円 / 小・中学生 100(70)円

*()内は20名以上の団体料金 *市内在住 65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名、市内在住・在学の小・中学生は無料

映画鑑賞+トークイベント 一般 1,000円 / 小・中学生 500円 (企画展観覧料含む)

特別上映 一般 1,600円 / 小・中学生 800円 (企画展観覧料含む)

*チケット提示で企画展もご覧いただけます。

チケット発売
開始日

4月の上映作品①～③ 3月20日(土・祝)
5月の上映作品④～⑦ 4月17日(土)
6月の上映作品⑧～⑨ 5月15日(土)

*作品により映像・音声必ずしも良好ではないものがあります。
場合によっては上映素材・作品の変更がありますことをご了承ください。

① 飢餓海峡 *途中休憩あり

4/6(火)・8(木)・10(土) 10:00
7(水)・9(金)・11(日) 13:30



戦後の混乱を背景にした犯罪ドラマを、内田吐夢の骨太な演出とそれを支えた技術者たち、そして器の大きな役者たちの演技が三位一体となって描き出した日本映画史上の傑作。なかでも伴淳三郎のシリアスな演技は特筆に値する。

1965年/東映/白黒/183分/DCP
監督:内田吐夢 原作:水上勉
出演:三國連太郎、左幸子、高倉健、伴淳三郎、三井弘次、加藤嘉、沢村貞子、藤田進、風見章子、山本麟一、室田日出男

② 日本のいちばん長い日

4/7(水)・9(金)・11(日) 10:00
6(火)・8(木)・10(土) 14:00



御前会議での降伏決定から、ポツダム宣言受諾に至る1日を描き出した戦争映画の名作。名優が勢揃いで政府の要人を演じ、原作は昭和史研究家・半藤一利の代表作としても名高い。脚本は黒澤作品、『砂の器』などの橋本忍。

1967年/東宝/白黒/157分/DCP
監督:岡本喜八 原作:半藤一利
出演:三船敏郎、山村聰、宮口精二、笠智衆、戸浦六宏、志村喬、中村伸郎、小杉義男、黒沢年男、加藤武、加東大介、田崎潤、新珠三千代

③ 華麗なる一族 *途中休憩あり

4/13(火)~18(日) 13:00



関西政財界を舞台に、銀行家一家の欲望と愛憎にまみれたドラマを名優総出演で描き出した超大作。『白い巨塔』に続く山崎豊子原作で大ヒットを記録し、社会派映画を得意とする山本薩夫にとって面目躍如たる作品となった。

1974年/芸苑社/カラー/211分/35mm
監督:山本薩夫 原作:山崎豊子
出演:佐分利信、仲代達矢、京マチ子、月丘夢路、山本陽子、目黒祐樹、香川京子、酒井和歌子、田宮二郎、志村喬、二谷英明、西村晃

④ 晩菊

5/18(火)・20(木)・22(土) 10:30
19(水)・21(金)・23(日) 14:00



林芙美子作品に定評のある成瀬巳喜男による映画化。高利貸しを生業にし、昔の芸者仲間からの取り立てに忙しいきん(杉村)は、かつての恋人からの手紙に淡い期待を寄せるが…。中年期を迎えた女優たちの名演が光る。

1954年/東宝/白黒/101分/35mm
監督:成瀬巳喜男 原作:林芙美子
出演:杉村春子、望月優子、細川ちか子、沢村貞子、上原謙、小泉博、有馬稲子、加東大介

⑤ 放浪記

5/19(水)・21(金)・23(日) 10:30
18(火)・20(木) 14:00



貧しい生い立ち、恋多き人生を描いて文壇を席捲した林芙美子の自伝的代表作を映画化。往年の名優たちが次々と登場し、高峰秀子演じるふみ子と愛憎入り乱れる人間模様を織り成すさまは、日本映画黄金期ならではの贅沢さ。

1962年/宝塚映画/白黒/123分/35mm
監督:成瀬巳喜男 原作:林芙美子
出演:高峰秀子、田中絹代、宝田明、加東大介、草笛光子、仲谷昇、伊藤雄之助、小林桂樹、織田政雄、加藤武、飯田蝶子、賀原夏子

⑥ 小早川家の秋

5/25(火)・27(木)・29(土) 10:30
26(水)・28(金)・30(日) 14:00



京都で造り酒屋を営む大家族を舞台に、東宝の名優たちが関西弁の味わい深い演技を披露した小津唯一の東宝作品。ご隠居の女性問題や娘の結婚、嫁の再婚、そして死など、小津ならではのテーマがみずみずしく活写される。

1961年/宝塚映画/カラー/103分/35mm
監督:小津安二郎
出演:中村錦之助、新珠三千代、小林桂樹、浪花千栄子、森繁久彌、司葉子、原節子、団令子、杉村春子、加東大介、宝田明

⑦ 長屋紳士録

5/30(日) 10:30
25(火)・27(木)・29(土) 14:00



敗戦後の混乱した東京を舞台に、父親とはぐれた孤児と長屋の住民たちとの交流を描く。戦前、小津組の常連だった松竹の名優たちが再集結し、飯田蝶子の代表作になったが、戦後の小津は作風を大きく変えていった。

1947年/松竹/白黒/72分/35mm
監督:小津安二郎
出演:飯田蝶子、吉川満子、河村黎吉、笠智衆、坂本武、小沢栄太郎、青木麻呂、三村秀子、高松栄子、殿山泰司

⑧ 警察日記

6/15(火)・17(木)・19(土) 10:30
16(水)・18(金)・20(日) 14:00



磐梯山の麓にある田舎町を舞台に、市井に生きる人々の悲喜こもごもが、人情味溢れる巡査たちとの関わりを通して描かれる。美しいロケーションを背景に名優たちのアンサンブルが冴え渡り、子役たちの演技も見事。

1955年/日活/白黒/111分/35mm
監督:久松静児 原作:伊藤永之介
出演:森繁久彌、三國連太郎、穴戸錠、殿山泰司、杉村春子、沢村貞子、二木てるみ、三島雅夫、十朱久雄、伊藤雄之助、東野英治郎

⑨ にっぽんのお婆あちゃん

6/20(日) 10:30 19(土) 13:30 [特別上映]
15(火)・17(木) 14:00



『青い山脈』『ひめゆりの塔』などで知られる今井正が、当時社会問題となりつつあった「高齢化社会」に切り込んだ社会派コメディ。日本映画の名“老け役”女優が勢揃いし、浅草を舞台に珍道中を繰り広げる貴重な1作。

1962年/M・I・プロ/白黒/94分/35mm
監督:今井正
出演:ミヤコ蝶々、北林谷美、飯田蝶子、浦辺粂子、東山千栄子、岸輝子、村瀬幸子、三木のり平、瀧美清、渡辺文雄、小沢昭一、十朱幸代

上映スケジュール

4月	関連上映		6 火	10:00 飢餓海峡(183分)	14:00 日本のいちばん長い日(157分)
	日本映画名優列伝		7 水	10:00 日本のいちばん長い日(157分)	13:30 飢餓海峡(183分)
	チケット発売日:3月20日(土・祝)		8 木	10:00 飢餓海峡(183分)	14:00 日本のいちばん長い日(157分)
			9 金	10:00 日本のいちばん長い日(157分)	13:30 飢餓海峡(183分)
			10 土	10:00 飢餓海峡(183分)	14:00 日本のいちばん長い日(157分)
			11 日	10:00 日本のいちばん長い日(157分)	13:30 飢餓海峡(183分)
	関連上映		13 火		13:00 華麗なる一族(211分)
	日本映画名優列伝		14 水		13:00 華麗なる一族(211分)
	チケット発売日:3月20日(土・祝)		15 木		13:00 華麗なる一族(211分)
			16 金		13:00 華麗なる一族(211分)
			17 土		13:00 華麗なる一族(211分)
		18 日		13:00 華麗なる一族(211分)	
5月	シネマウィーク		27 火	10:30 ライフ・イズ・カラフル! 未来をデザインする男ピエール・カルダン(101分)	14:00 パブリック 図書館の奇跡(119分)
	チケット発売日:3月20日(土・祝)		28 水	10:30 なぜ君は総理大臣になれないのか(119分)	14:00 三島由紀夫vs東大全共闘 50年目の真実(108分)
	一般1,200円/小・中学生600円		29 木・祝	10:30 パブリック 図書館の奇跡(119分)	14:00 ライフ・イズ・カラフル! 未来をデザインする男ピエール・カルダン(101分)+上映解説
			30 金	10:30 三島由紀夫vs東大全共闘 50年目の真実(108分)	14:00 なぜ君は総理大臣になれないのか(119分)
			1 土	10:30 ライフ・イズ・カラフル! 未来をデザインする男ピエール・カルダン(101分)	14:00 パブリック 図書館の奇跡(119分)
			2 日	10:30 なぜ君は総理大臣になれないのか(119分)	14:00 三島由紀夫vs東大全共闘 50年目の真実(108分)
			3 月・祝	10:30 パブリック 図書館の奇跡(119分)	14:00 ライフ・イズ・カラフル! 未来をデザインする男ピエール・カルダン(101分)
			4 火・祝	10:30 三島由紀夫vs東大全共闘 50年目の真実(108分)	14:00 なぜ君は総理大臣になれないのか(119分)
			5 水・祝		14:00 【振替】トークイベント ゲスト:檜垣紀六さん
			6 木	10:30 ライフ・イズ・カラフル! 未来をデザインする男ピエール・カルダン(101分)	14:00 パブリック 図書館の奇跡(119分)
			7 金	10:30 なぜ君は総理大臣になれないのか(119分)	14:00 三島由紀夫vs東大全共闘 50年目の真実(108分)
6月	シネマウィーク		8 火	10:30 ハワーズ・エンド(143分)	14:00 マーティン・エデン(129分)
	チケット発売日:5月15日(土)		9 水	10:30 ストーリー・オブ・マイライフ/わたしの若草物語(135分)	14:00 ハワーズ・エンド(143分)
	一般1,200円/小・中学生600円		10 木	10:30 マーティン・エデン(129分)	14:00 ストーリー・オブ・マイライフ/わたしの若草物語(135分)
			11 金	10:30 ハワーズ・エンド(143分)	14:00 マーティン・エデン(129分)
			12 土	10:30 ストーリー・オブ・マイライフ/わたしの若草物語(135分)	14:00 ハワーズ・エンド(143分)
			13 日	10:30 マーティン・エデン(129分)	14:00 ストーリー・オブ・マイライフ/わたしの若草物語(135分)
	関連上映		15 火	10:30 警察日記(111分)	14:00 につぼんのお婆あちゃん(94分)
	日本映画名優列伝		16 水		14:00 警察日記(111分)+上映解説
	チケット発売日:4月17日(土)		17 木	10:30 警察日記(111分)	14:00 につぼんのお婆あちゃん(94分)
			18 金		14:00 警察日記(111分)
			19 土	10:30 警察日記(111分)	13:30 特別上映 につぼんのお婆あちゃん(94分)+トークイベント ゲスト:濱田研吾さん
		20 日	10:30 につぼんのお婆あちゃん(94分)	14:00 警察日記(111分)	

展示解説 上映解説

展示の見どころ/上映作品について、学芸員が映像資料室で解説します。(要企画展観覧料)

展示解説 2021年3月27日(土)、4月24日(土)、5月16日(日) 各日14:00~(約40分)

上映解説 2021年4月29日(木・祝)、5月29日(土)、6月16日(水) 各日午後の上映終了後(約30分)

旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)特別公開

5/1(土)~5日(水・祝) 10:00~16:00(要入館料)

2021年度「友の会」会員募集中 年会費:2,500円

*映画チケットの電話予約が可能

*1,000円分の映画鑑賞引換券を2枚プレゼント

*展示観覧料がいつでも無料

*展覧会やイベントのチラシをご自宅に郵送

*会員向けの上映会やイベントを開催

記念館窓口、郵便振替でお申込みを受け付けています。

詳しくはお問合せください。



鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

☎0467-23-2500

開館時間: 9:00~17:00(入館は16:00まで)

休館: 月曜日(5月3日は開館)

●鎌倉駅より徒歩8分 ●駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

主催:川喜多・KBSグループ(鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)

*入館時、館内での感染予防対策にご協力ください。

*席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。詳しくはお問合せください。

<https://kamakura-kawakita.org>

